

Maternal exposure to smoking and infant's wheeze and asthma: Japan Environment and Children's Study

出典	Allergol Int 2021;70(4):445-451 (https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34140239/)
著者	Wada T et al.
調査地域	全国 15 か所の地域
調査時期	2011 年 1 月～2014 年 3 月
調査対象	母子出生コホートの 1 歳時点での検討
依頼数	103062 人の妊婦を登録
有効回答数 または回収率	90210 人を解析
診断方法	ISAAC、医師の診断
有症率	喘鳴 15.5% 喘息（医師診断） 2.5%
調査概要	エコチル調査対象者における検討で、妊娠中の母親の喫煙や間接喫煙が、児の 1 歳時点における喘鳴や喘息の危険因子となっていた。